



一般社団法人全麺協東日本支部
第 11 回通常総会

平成 30 年 4 月 11 日（水）
於 麺業会館 2 階会議室

議案書（義決後）

出席者数 正会員 43 委任状提出 29 役員出席 6

挨拶

議事

第 1 号議案	平成 29 年度事業報告	1
第 2 号議案	平成 29 年度事業収支・監査報告	8
第 3 号議案	一般社団法人全麺協東日本支部 規約一部改正案	10
第 4 号議案	一般社団法人全麺協東日本支部 役員選出要綱一部改正案 <u>立候補者の意見表明</u>	13
第 5 号議案	30・31 年度役員選出案	16
第 6 号議案	平成 30 事業計画（案）	18
第 7 号議案	平成 30 年度事業収支予算（案）	20

その他

資料 一般社団法人全麺協東日本支部会員名簿（別添）

第 1 号議案 提案どおり議決された。

一般社団法人全麺協東日本支部事業報告書（案）

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

1 第 10 回通常総会の開催

日時・会場 4 月 24 日（月） 13：30～ 麺業会館

内 容 ・平成 28 年度事業報告
・平成 28 年度収支報告・監査報告
・平成 29 年度事業計画
・平成 29 年度収支予算

2 第 9 回全麺協東日本支部会員そば打ち交流大会の開催

開催日 平成 29 年 12 月 17 日（日）

会 場 埼玉県民活動総合センター

主 管 NPO 法人そばネット埼玉

競技種目：二八そば（1.0k）、10 割そば（1.5k）、更科そば（二八の 1.0k）

※ 別添 1 報告書参照

3 段位認定地方審査員技術研修会の開催

東日本支部の審査員数は全国、地方併せて 220 人に及び例年 1 個所での開催は会場などのハードや開催地域、日程などの面で限界を超えており、2 か所で開催することとした。

埼玉会場（協力会員：NPO 法人そばネット埼玉）

開催日 平成 29 年 12 月 16 日（土）

会 場 埼玉県民活動総合センター

内 容 講義（審査要領、審査員心得）等

受講者数 125 名

郡山会場（協力会員：大島そば同好会）

開催日 平成 30 年 1 月 28 日（日）

会 場 郡山ユラックス熱海

内 容 講義（審査要領、審査員心得）等

受講者数 32 名

※ 別添 2 報告書参照

4 日本そば大学講座 第 1 回東日本支部学舎 in 寒河江の開催

事業計画では「支部会員交流・意見交換会」の予定であったが、全麺協事業として、新たに各支部主催の日本そば大学講座を開催することになり、会員交流・意見交換会をそば大学講座に合わせて開催した。

※ 別添 3 報告書参照

5 そば打ち技術交流会の開催

開催日 平成 29 年 6 月 24 日（土）～25 日（日）

会 場 日光市藤原総合文化会館（公民館）

運営協力 栃木のうまい蕎麦を食べる会

四段受験希望者対象

※ 別添 4 報告書参照

6 支部内で開催される全麺協直轄事業への協力

① 五段位認定本審査会

平成 29 年 10 月 28～29 日

台東区区民会館

協力会員
最高段位認定会実行委員会

- ② 四段位技能審査 東京認定会
平成 30 年 2 月 17=18 日
台東区民会館
協力会員
四段位東京認定会実行委員会

7 段位認定審査会への木鉢・ふるいの貸与

支部内で開催される段位認定大会が、公平な審査が行われるよう、東日本支部保有の木鉢・ふるいを貸与した。

ふるさと寒河江そば工房	平成 29 年 10 月	三段位認定山形大会
	平成 29 年 12 月	初二段認定会
日光市	平成 29 年 11 月	初・二・三段認定日光大会

※ 近年、全国認定会が支部貸与の鉢と異なることもあって、貸与は上記会員のみとなっており、他の主催団体は自前の鉢を使用している。
支部の鉢及びその容器（木箱）も 10 年近く使用して老朽化したこともあり、今年度で木鉢の貸与は中止し、譲り受け（有償）を希望したふるさと寒河江そば工房に引き渡しをした。

8 その他

- ・役員会・会員とのきめ細かい情報交換

第 1 回役員会

日時 平成 29 年 4 月 17 日（月）13：30～

会場 さいたま市

議題 第 10 回総会に向けての議案検討

第 1 回幹部会議

日時 平成 29 年 6 月 5 日（月）13：30～

会場 支部事務所

議題 本部支部連絡会議に向けて
支部開催のそば大学について
審査員研修会等支部事業の進め方について
ほか

第 2 回役員会

日時 平成 30 年 1 月 23 日（火）13：30～

会場 麺業会館

議題 規約の改正、支部会費、役員改選ほか

上記会議のほか、メールによる協議等をきめ細かく行っている。

- ・インターネットメールを活用して、きめ細かい役員会の開催や会員への情報提供を行った。
- ・全麺協ホームページの支部のページを積極的に活用している。

別添 1

第 9 回東日本支部会員そば打ち交流大会報告書

この大会も 9 回目となりました。今回は第 7 回を主管した NPO 法人そばネット埼玉が、再度主管となり、埼玉県県民活動総合センターで開催されました。

おかげさまで、12 団体から合計 15 チームの申し込みがあり、複数チーム申込団体は 1 チームにさせていただくようお願いしたものです。

結果は以下のとおりです。

- 1 開催日 平成 29 年 12 月 17 日 (日)
- 2 会 場 埼玉県県民活動総合センター
- 3 主 管 NPO 法人そばネット埼玉
- 4 出場チーム (12 チーム)
いばらき蕎麦の会、江戸流手打ちそば 二・八の会、久喜そば倶楽部、群馬奥利根連合そば会、圏央手打ちそばクラブ、彩蕎一門会、さいたま蕎麦打ち倶楽部、杉戸麺打愛好会小川道場、秩父そば打ち倶楽部 蕎麦館、つくば蕎麦愛好会、栃木のうまいそばを食べる会、分桜流・彩次郎蕎麦打ち会

入賞団体

- 優 勝 杉戸麺打愛好会小川道場
準優勝 いばらき蕎麦の会
第 3 位 分桜流・彩次郎蕎麦打ち会
部門賞 二八の部 いばらき蕎麦の会 (長崎幸村)
生粉の部 杉戸麺打愛好会小川道場 (茂呂俊子)
さらしなの部 杉戸麺打愛好会小川道場 (小林秀美)



生粉の部の会場風景

平成 29 年度東日本支部「地方審査員審査技術研修会」の開催報告

28 年度、東京板橋で開催した審査委員技術研修会は、127 名の参加者で会場のキャパシティを超えることになったこと、さらに、4 支部で一番多くの審査員数の支部として、年 1 回では日程上参加できない方も出てくることもあり、東北地区と関東地区の 2 か所開催を試みた。
その結果、昨年よりも多くの参加者となった。

埼玉会場（協力団体 NPO 法人そばネット埼玉）

- 1 日 時 平成 29 年 12 月 17 日（土）10：00～16：00
- 2 会 場 埼玉県民活動総合センター
- 3 受講者数 125 名
- 4 内 容 ① 講義 段位認定普及部会長 落合輝美
一般社団法人全麺協の会員制度、審査員の心構え等を映像を使用して説明
② 模擬審査
受講者数が多いことから受講者を 12 班に分け、会場内に打ち台 12 台、12 人の試技者に対して模擬審査を実施した。
全国審査員及び地方審査員の内五段位認定者を班長として各受講生の審査結果をデスカッションをし、その結果を班長が順次全員に報告をし、質疑応答の上、全員で意見交換を行った。
受講者からは「審査員の見方によって判断が分かれることがよくわかり、受験者のために慎重な審査が求められることを理解し審査技術の向上に努めなければならないことを実感した。」との感想をいただいた。

郡山会場（協力団体 大島そば同好会）

- 1 日 時 平成 30 年 1 月 28 日（日）10：00～16：00
- 2 会 場 郡山ユラックス熱海
- 3 受講者数 32 名
- 4 内 容 埼玉会場と同様であるが、会場設営の都合で、模擬審査を午前に行い、講義を午後に行った。

今回初めて 2 会場で開催し、それぞれの協力団体のご尽力で、参加者の感想は、日程を選べる、身近な開催地で受講できるなど良好であった。

しかしながら、まず、2 か所に分けても関東地区は 120 名を超えており、会場設営が容易でないことに変わりはない。埼玉は 12 月、郡山は丁度大寒波で大雪に見舞われるなど、開催時期の再検討が必要と思われ、次年度は早めの計画を立てることが必要である。

別添 3

日本そば大学講座 「第 1 回東日本支部学舎 in 寒河江」

～山形地域に根差すそば文化を学ぶ～

開催概要報告

1 開催趣旨

一般社団法人全麺協は、そば食文化の普及・啓発、さらには、そばを通じた食育について指導的役割を担う人材を育成するため開設してきた「日本そば大学講座」を今年度は各支部で開催することとし、東日本支部は、全麺協事業への理解を深め、さらに、地域に受け継がれてきたそば文化を学ぶことを基本として、記念すべき第 1 回目を山形県寒河江市で全麺協正会員「ふるさと寒河江そば工房」の協力を得て、「山形地域に根差すそば文化を学ぶ」を副題として、下記のとおり開催しました。

2 開催期日 平成 30 年 2 月 24 日（土）～25（日）

3 会場 寒河江市 ホテルサンチェリー

4 主催 一般社団法人全麺協 東日本支部

5 主管 ふるさと寒河江そば工房（やまがた素人そば打ち名人大会実行委員会）

6 後援 一般社団法人全麺協、山形県

7 受講者数 173 人（募集人員 120 人）

8 講座と日程 別紙

9 概要

- ・雪国山形県の 2 月開催ということで、1 月の大寒波のような事態を心配したが、幸い開催初日の午前に参加者を歓迎するかのような美しい雪が舞う程度で開講時には晴れてきた。

- ・主催者及び来賓の挨拶で始まり、講座 1 で唐橋副理事長の「段位認定者の地域振興の役割」を画像をふんだんに交え、全麺協の歴史から段位認定者の期待される役割等についての講義、講座 2 では山形県農業総合研究センターの 今野氏から、大正からの蕎麦品種開発の歴史で「最上早生」から「でわかおり」最新の「山形 BW5 号」に至るまでの興味深い講義に受講生は耳を傾けていた。

講座 3 で廣澤全麺協企画渉外部会長から、全麺協の海外蕎麦事情視察の意義と過去の事例について詳細な報告があり、受講生は海外におけるそばを学ぶことの大切さを理解したようだ。

18:30 からの交流会はふるさと寒河江そば工房会員の「そば打ち音頭」の披露もあり、楽しい交流会が開催された。

- ・翌 25 日、講座 4 として寒河江地方のそば切りの歴史について、寒河江市文化財保護委員長 宇井氏の講義の予定であったが、宇井氏のよんどころない都合により、欠席となって、司会者がテキストの朗読をした。

講座 5 は、山形県麺類飲食生活衛生協同組合理事長で、江戸時代から 5 代目となる「手打ち水車そば」の矢萩長兵衛氏の「蕎麦屋から見た山形県における蕎麦事情」であったが、蘊蓄の深いお話に受講生からの質問も飛び交い楽しい講義となった。

講座 6 として、ふるさと寒河江工房の松田氏が「山形地方の家庭に伝わるそば打ち技法」を披露して、受講生は大変興味深く質問攻めの様相であった。最後の振り返り討論は、「永続する全麵協を目指して」の題目で、受講生から 7 人が意見を発表し、受講生も交えての質疑応答もあるなど、「参加型そば大学」として有意義な時間であった。

今回が第 1 回目の支部におけるそば大学講座であり、受講生からのアンケートなども含めて開催結果を総括し、支部会員の理解を得ながら次回に向けて進めていきたい。

別紙

第 1 日目 2 月 24 日(土)

進行時刻	テーマ	内 容
11:00～	受け付け	二階 ロビー 物販開店 12:00～16:30
13:00～13:30	開講式 (30分)	
13:30～14:30	講座 1 (60分) 基調講演	段位認定者の地域振興の役割 全麵協副理事長 唐橋 宏 氏
14:35～15:40	講座 2 (65分)	山形県における蕎麦品種開発等の取り組みについて 山形県農業総合研究センター専門研究員 今野 周 氏
15:40～15:55	休憩 (65分)	
15:55～17:00	講座 3 (65分)	世界のそば文化を訪ねて・そば大学講座について 全麵協理事 企画渉外部会長 廣澤 幸雄 氏
17:10～17:30	討論会のガイダンス (20分)	討論内容と進行について
17:45～	チェックイン フリータイム	
18:15～	交流会 受付	二階 ホール
18:30～	交流会開会	
19:45	交流会 お開き	

第 2 日目 2 月 25 日(日)

進行時刻	テーマ	内 容
8:00～	会場 オープン	物販開店 8:00～12:30
8:15～9:15	講座 4 (60分)	寒河江地方のソバ切り 寒河江市文化財保護委員長 宇井 啓 氏
9:15～10:15	講座 5 (65分)	江戸時代の創業から、こだわり続けた素材と味 天童水車生そば 五代目店主 矢萩 長兵衛 氏
10:15～10:30	休憩 (65分)	
10:30～11:45	講座 6 (65分) 実演	昔から家庭に伝わる蕎麦打ち ふるさと寒河江そば工房
11:45～12:30	昼食 弁当	ロビーにて配布
12:30～13:45	振り返りと討論 (75分)	永続する全麵協を目指して ファシリテーター ふるさと寒河江そば工房 松田 伸一 話題提供者 参加者の中から
13:45～14:00	閉会式	

平成29年度 東日本支部そば打ち技術研修会開催報告

主管 栃木のうまい蕎麦を食べる会 会長 芳田時夫

四段位をめざす会員を対象に「四段位」受験予定者が参加し研修会を開催しました。

- 1、期日 6月24日(土) 25日(日)
- 2、会場 栃木県日光市鬼怒川温泉大原
日光市藤原総合文化会館(藤原公民館)
- 3、宿泊 伊藤園ホテルニューさくら
- 4、参加者 研修参加者39名
- 5、指導者 全麺協段位指導部長落合輝美
講師陣として支部指定指導員
及び五段位認定者。計15名
- 6、目的 指導者としての見識と四段に
向けての技術向上。

そば打ちを研鑽して参加者の交流を深める。

支部全体の活性化、レベルの底上げ、指導層の育成充実を図る。

- 7、講演 阿部支部長が「次期指導者としての心構え」について、次に
落合本部派遣指導員から「粉とそば打ち」そば粉の特性についての講話を受けた後、落合指導員のデモ打ちをおこなった。

- 8、指導 鉢・のし・切りの場所を分けて
指導員を配置して行程順にそば打ち指導を行った。細部にわたり個人毎に指導を行った。

- 9、参加者 参加者回答の全員が参加してためになった。論理的で3段と4段の違いがわかった。
4段ショックを受けたとの感想がありました。

- 10、講師 講師の意見としては全体的には良かった。1人を通し指導するか模擬認定会かどうか。会場の設備配置等より改善をでした。

- 11、主管 栃木のうまい蕎麦を食べる会



落合指導員の講話



落合指導員のデモ打ち



鈴木・仲山・掛札の各指導員のデモ打ち

第2号議案

(案)
全麵協東日本支部事業収支報告書
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

単位:円

科 目	予算額	決算額	摘要
I 収入の部			
1 全麵協助成金	550,000	566,000	
会費徴収手数料	500,000	516,000	
地方認定審査員研修会助成金	50,000	50,000	
2 事業収入	1,950,000	393,000	
単位取得手帳販売	50,000	138,500	500円×277冊
地方認定審査員研修会	400,000	254,500	受講料等
支部会員交流会	300,000	0	寒河江そば大学で決算
そば打ち技術研修会	1,200,000	0	技術研修会主管清算
3 雑収入	10	3	預金利子
		20,000	鉢・ふるい売却
当期収入合計(A)	2,500,010	979,003	
前期繰越金	167,380	167,380	
収入合計(B)	2,667,390	1,146,383	
II 支出の部			
1 事業費	2,115,000	703,051	
1) 単位取得手帳販売			
手帳購入	25,000	0	本部へ
その他経費	0	8,684	
2) 段位認定地方審査員研修会			
主管者経費	425,000	263,937	主管の経費
支部事務経費	25,000	178,216	
3) 支部会員対抗選手権大会			
助成金	100,000	23,279	主管に委託
4) 支部会員交流会			
助成金	300,000	0	寒河江そば大学で決算
支部役員出張費	40,000	0	
5) そば打ち技術研修会			
研修会経費	1,200,000	0	技術研修会主管清算
5) 寒河江そば大学			
助成金	0	100,000	
支部役員出張費	0	126,790	
事務経費	0	2,145	
2 管理費	351,500	426,018	
消耗品費	20,000	31,208	印刷インク・用紙代等
会議費	30,000	32,904	
旅費	270,000	280,636	総会、部会、役員会(2回)
段位認定大会・道具輸送費	20,000	20,300	2ヶ所
振込手数料	1,500		
振込手数料(手帳)	2,000	1,728	
手帳販売経費	3,000		
通信費	5,000	9,302	郵便
倉庫賃料		49,940	
雑費	0		
5 予備費	200,890	0	
当期支出合計(C)	2,667,390	1,129,069	
次期繰越額	0	17,314	
支出合計		1,146,383	

一般社団法人全麵協東日本支部
平成 29 年度 監査報告書

平成 30 年 4 月 4 日、東日本支部長から提出された事業収支報告書、諸帳簿、関係書類を監査しましたところ、全て適正に執行されているものと認められましたことを報告します。

平成 30 年 4 月 4 日

監事

野 本 徳 市 (印)

第 3 号議案

一般社団法人全麺協東日本支部規約の一部を別紙のとおり改正する。

提案理由

1 副支部長の定数の改正

現行の規定では副支部長は 2 名であるが、会員数も平成 20 年の支部発足時の正会員数は 32 団体で、今年度末では 91 団体となっており約 3 倍に増加している。

さらに、東日本支部は 1 都 7 県と広域であり、執行役員としても活躍する副支部長の定数は支部役員会で必要数を検討して決定することが望ましい。

議決条件を付して議決

提案どおり支部役員会で検討し、適切な副支部長及び幹事の定数を次期改選時までに検討して改正案を提案することを付則に明記することで出席者総員の賛成で議決された。

2 支部会費の新設について

東日本支部発足時から、支部財政は全麺協からの助成金（現会費徴収手数料）で運用してきたが、広域であるがゆえに役員会開催費用（交通費）だけでも予算額の半額を占めるなど限界にきている。

さらに、支部会員の交流や支部内における、そばによる地域活性化のための事業推進を進めていくには支部独自の財源が必要である。

欠席会員（1）の F A X による反対意見を紹介した上で採決をし、出席者総員の賛成による賛成多数で提案のとおり議決された。

3 監事定数の改正

出席会員から監事定数 1 名を 2 名とする動議が提出され、議長はこれを直ちに議題として提案し、出席者総員の賛成で議決された。

一般社団法人全麺協東日本支部規約改正案

(名称)

第1条 一般社団法人全麺協（以下「全麺協」という。）定款第45条に1項の規定に基づき一般社団法人全麺協東日本支部（以下「支部」という。）と称する。

(目的)

第2条 支部は、全麺協定款第45条第2項の規定に基づき、全麺協定款第5条の規定に基づく支部内に関する事業を執行する。

(構成)

第3条 支部は、支部内に所在する全麺協正会員、地方公共団体正会員、地方公共団体賛助会員及び一般企業等賛助会員とする。

(事業)

第4条 支部は、目的達成のため、次に掲げる事項を行う。

- (1) 支部内における全麺協事業の円滑な推進に関すること。
- (2) 支部内におけるそば文化に関する情報提供と交流に関すること。
- (3) 支部内におけるそば文化に関する各種イベントの推進に関すること。
- (4) その他、全麺協の目的・事業に関すること。

(役員)

第5条 支部に次の役員を置く。

- (1) 支部長 1名
- (2) 副支部長 ~~2名~~若干名
- (3) 幹事 若干名
- (4) 監事 ~~1名~~2名
- (5) 事務局長 1名

2 役員は正会員及び地方公共団体正会員から選出する。

3 役員は支部総会において選出する。

(任期)

第6条 役員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

ただし、その期間は全麺協役員の期間と同一とする。

(職務)

第7条 支部長は、支部を代表し会務を総括する。

- (1) 副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故あるときはその職務を代行する。
- (2) 幹事は、支部運営を分担し業務を行う。

(3) 監事は、支部の会計を監査する。

(4) 事務局長は、支部の庶務を処理し、会計を担当する。

(会議)

第8条 支部の会議は、総会及び役員会とし支部長が招集し、会議の議長となる。

2 総会は毎年1回開催する。ただし、支部長が必要と認めるとき又は第3条に規定する会員（地方公共団体賛助会員及び一般企業等賛助会員を除く。）の過半数が必要と認めるときは臨時に総会を開催することができる。

3 正会員は総会における議決権を有し、地方公共団体賛助会員及び一般企業等賛助会員は総会に出席し、意見を述べることができる。

4 総会の議事は、出席した正会員及び地方公共団体正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 次の事項は、総会に諮らなければならない。ただし、急を要する場合は、支部長において専決することができる。

(1) 規約の改正に関する事。

(2) 予算決算に関する事。

(3) 事業計画に関する事。

(4) 役員の承認に関する事。(全麵協定款第 45 条の規定に基づく全麵協理事の推薦を含む。)

(5) その他重要な事項。

6 前項ただし書きによる処置については、次の総会において承認を求めなければならない。

7 役員会は、必要に応じて支部長がこれを招集し、次の事項を審議する。

(1) 総会に付議すべき事項

(2) 第 4 条に規定する事業の執行に関する事項

8 役員会の議事は、出席した役員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(顧問)

第 9 条 この支部に顧問をおくことができる。

2 顧問は、総会で承認を受け、支部長が委嘱する。

3 顧問は、専門的な事項について、会員の求めに応じて指導助言を行う。

(経費)

第 10 条 この支部の経費は、全麵協助成金会費徴収手数料及び支部会費その他の収入をもってこれに充てる。

(支部会費)

第 10 条の 2 正会員は年額 5,000 円の支部会費を、毎年 6 月末日までに支部に納入しなければならない。ただし、年度途中に正会員として入会した場合は、入会后速やかに納入するものとする。

(会計年度)

第 11 条 この支部の会計は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日をもって終わる。

(事務局)

第 12 条 支部に事務局を置き、その所在地は支部長が指定する。

(補則)

第 13 条 この規約に定めるもののほか、必要なことは支部長が総会に諮って定める。

(附則)

この規約は、平成 20 年 5 月 10 日より実施する。

この規約は、平成 27 年 5 月 9 日から施行する。

この規約は、平成 28 年 4 月 28 日から施行する。

この規約は、平成 30 年 4 月 11 日から施行する。ただし、第 5 条第 1 項第 2 号及び第 3 号の定数については、次期改選までとする。

第 4 号議案

一般社団法人全麵協東日本支部役員選出要綱の一部を別紙のとおり改正する。

提案理由

一般社団法人全麵協の理事は、定款の規定により理事会が推挙して総会で議決することになっている。

理事会で推挙する理事の内、支部については定款 46 条の規定により支部が理事候補者を推薦することになっており、その数は平成 29 年度までは 1 名であったが、30 年度から 2 名となった。

今迄は 1 名だったので特に規定はなく支部長を推薦していたが、2 名となるとその推薦者を決める規定が必要となる。

提案どおり 出席者総員の賛成により議決された。

一般社団法人全麵協 東日本支部 役員選出要綱（改正案）

（目的）

第1条 この要綱は、一般社団法人全麵協東日本支部規約（以下「規約」という。）第5条第3項の規定に基づく役員の選出方法について定める。

（支部長、副支部長）

第2条 支部長、副支部長は下記の方法で選出する。

- 1 一般社団法人全麵協（以下「全麵協」という。）正会員に所属する者の立候補とする。
- 2 立候補の届出は、様式により、一般社団法人全麵協東日本支部役員会で、定めた期間に規約第5条（4）に規定する事務局長に提出するものとする。
- 3 事務局長は、2項の届出書が提出された場合、速やかに支部会員に当該届出書を公開しなければならない。公開の方法は、会員宛のメール、FAX 等とする。
- 4 2項の届け出書が定数以内の場合は、直近の東日本支部総会で選出し、定数を上回る者から届出書が提出された場合は、東日本支部総会で投票により選出するものとする。

（幹事、監事、事務局長）

第3条 幹事及び、監事の選出は、役員会で選考し、総会で選出する。

ただし、幹事及び事務局長については、次のとおりとする。

- 1 次項以外の幹事については、地域、会員数を考慮する。
- 2 全麵協本部の役員（部会員を含む。）は、幹事とする。
- 3 事務局長は、支部長が任命する。

（全麵協理事の推薦）

第4条 全麵協理事の推薦は、1名は支部長、1名は副支部長とし、副支部長の人選は、支部長、副支部長が協議して役員会に諮り、総会に提案する。

（その他）

第5条 この要綱に定めのない事項が生じた場合は、役員会の議決により支部長が定める。

附則

- 1 この要綱は、平成28年3月1日から施行する。
- 2 この要綱は、平成30年4月11日から施行する。

様式

一般社団法人全麵協 東日本支部
支部長・副支部長立候補届

一般社団法人全麵協東日本支部事務局長 様

私は、一般社団法人全麵協東日本支部役員選出要綱第 2 条第 2 項の規定により
下記の通り届けます。

届 け 出 年 月 日	年 月 日
立 候 補 する 役 職	支部長・副支部長（どちらかを○で囲む）
正会員名及び役職	
氏 名	
生 年 月 日	
立候補にあたって の抱負等	
備考	
事務局処理	受付年月日 公開年月日

第 5 号議案

一般社団法人全麵協東日本支部役員を別紙のとおり推挙する。

ただし、全麵協役員の内東日本支部管内の正会員に所属する役員は支部幹事に就任するが、5 月 13 日に開催される一般社団法人全麵協総会で選任された後就任となる。

議決

第 3 号議案で、提案可決された監事定数増 1 名について、石野忠秋（江戸流手打ちそば 青山学舎）が立候補し、別紙名簿に追加した上で、出席者総員の賛成で追加議決された。

役員選出議決後、一般社団法人全麵協東日本支部役員選出要綱第 4 条の規定に基づき、支部長、副支部長全員で協議し、一般社団法人全麵協理事の副支部長の推薦者として菅野伸是を推薦する提案をしたところ、出席者総員の賛成で議決された。

さらに、出席会員から今期限りで一般社団法人全麵協副理事長を退任する唐橋 宏氏を一般社団法人全麵協東日本支部規約第 9 条の規定に基づく顧問として推薦する旨の動議が提案されたことから、議長は直ちにこれを議題とし諮ったところ、出席者総員の賛成で議決された。

平成30・31年度 全麺協東日本支部役員(案)

	役員名(個人又は正会員名)	地域	都県	新・継	備考
支部長	阿 部 成 男	公募	埼玉	継	NPO法人そばネット埼玉
副支部長	野 上 公 雄	公募	茨城	継	いばらき蕎麦の会
副支部長	菅 野 伸 是	公募	福島	継	うつくしま蕎麦王国協議会
副支部長	安 井 良 博	公募	東京	新	江戸流手打ちそば 二八の会
副支部長	腰 原 弘 敏	公募	千葉	新	千葉県そば推進協議会
副支部長	芳 田 時 夫	公募	栃木	新	栃木のうまい蕎麦を食べる会
幹事	ふるさと寒河江そば工房	東北	山形	継	
幹事	うつくしま蕎麦王国協議会	東北	福島	継	
幹事	会津山都そば協会	東北	福島	継	
幹事	会津磐梯そば道場	東北	福島	継	
幹事	宮城手打ちそば研究会	東北	宮城	継	
幹事	大島そば同好会	東北	福島	新	
幹事	蕎麦打ち道場 一寿の会	新潟	新潟	継	
幹事	栃木のうまい蕎麦を食べる会	北関東	栃木	継	
幹事	群馬奥利根連合そば会	北関東	群馬	継	
幹事	日光市	北関東	栃木	継	
幹事	杉戸麺打愛好会 小川道場	北関東	埼玉	継	
幹事	江戸流手打ち蕎麦 鶺鴒の会	南関東	東京	継	
幹事	桜流蕎麦打ち研究会	南関東	東京	継	
幹事	千葉県そば推進協議会	南関東	千葉	継	
幹事	千葉手打ち蕎麦の会	南関東	千葉	継	
監事	野 本 徳 市		埼玉	継	分桜流・彩次郎蕎麦打ち会
監事	石 野 忠 秋		埼玉	新	江戸流手打ち蕎麦 青山学舎
事務局長	野 島 靖 夫		埼玉	継	NPO法人そばネット埼玉
部会員	新寄照幸(地域振興部担当)		埼玉	継	常路麺打ち愛好会
部会員	柏倉寛充(段位認定部担当)		宮城	継	宮城手打ちそば研究会
幹事	全麺協総会で決定後以下同じ	全麺協本部役員			
幹事		全麺協本部役員			
幹事		全麺協本部役員			
幹事		全麺協本部役員			
幹事		全麺協本部役員			
幹事		全麺協本部役員			
幹事		全麺協本部役員			
幹事		全麺協本部役員			
幹事		全麺協本部役員			
		段位認定専門チーム			

第 6 号議案 提案どおり議決された。

一般社団法人全麺協東日本支部事業計画書（案）

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

1 第 11 回通常総会の開催

日時・会場 4 月 11 日（水） 13：30～ 麺業会館

内 容

- ・平成 29 年度事業報告
- ・平成 29 年度収支報告・監査報告
- ・支部規約の一部改正案
- ・役員選出要綱の一部改正案
- ・30・31 年度支部役員選出
- ・平成 30 年度事業計画案
- ・平成 30 年度収支予算案

2 第 10 回全麺協東日本支部会員そば打ち交流大会の開催

開催日 平成 30 年度中

会場 未定

主管 千葉県そば推進協議会

参加チーム 支部正会員 最大 12 チーム（36 人）

競技種目：二八そば（1.0k）、10 割そば（1.5k）、更科そば（二八の 1.0k）

3 段位認定地方審査員技術研修会の開催

段位認定事業部と調整し、対象者が参加しやすい時期と会場を設定することとしたい。

開催日 平成 29 年度中

支部南会場

日程 未定

会場 未定

内容 講義（審査要領、審査員心得）等

協力団体 千葉県そば推進協議会

支部北会場

日程 平成 30 年 7 月予定

会場 郡山市

内容 講義（審査要領、審査員心得）等

協力団体 大島そば同好会

4 日本そば大学講座第 2 回東日本学舎の開催

30 年度中

5 地域活性化事業の推進

地域に根差したそば文化紹介制度

そばによる地域活性化モデル事業

その他

6 そば打ち技術交流会の開催

四段位受験希望者対象

第 1 回

開催日 平成 30 年 月 日～ 日

会場 未定

運営協力

第2回

開催日 平成30年 月 日～ 日
会場 未定
運営協力

6 支部内で開催される全麵協直轄事業への協力

① 四段位認定会

開催日 平成30年11月

会場 未定

② 五段位本審査会

開催日 平成30年11月10～11日

会場 台東区民会館

7 その他

① 東日本支部段位認定会主催者連絡会議の開催

段位認定制度を継続発展させていくために、受験者の確保や円滑な運営、採算性の向上などについて、認定会的主催者が一堂に会して意見交換する。

本部段位認定事業部への出席要請

② 役員会の開催

原則年2回開催する。

③ 支部長・副支部長連絡会議を適宜開催する。

④ インターネットメールを活用して、全麵協理事会、支部役員会の報告など会員へのきめ細かい情報提供を行う。(インターネットメールの活用会員100%を目指す。)

⑤ 全麵協ホームページの支部のページを積極的に活用していく。

⑥ 他支部会員との交流を促進する。 今年度は中日本支部を予定

一部金額に集計誤りがあり、下記のとおり修正議決された。

第7号議案

全麵協東日本支部事業収支予算書(案)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

単位:円

科 目	29決算額	30年度予算額	摘要
I 収入の部			
1 会費		475,000	95団体x5,000円
2 全麵協助成金		570,000	
会費徴収手数料	516,000	520,000	
地方認定審査員研修会助成金	50,000	50,000	
3 事業収入		1,750,000	
単位取得手帳販売	138,500	50,000	500円x100冊
地方認定審査員研修会	254,500	400,000	受講料値上げ(1千円→2千円)
支部会員交流会	0	100,000	
そば打ち技術研修会	0	1,200,000	40名x30,000円
4 雑収入	3	5	預金利子等
	20,000		鉢、ふるい売却
当期収入合計(A)	979,003	2,795,005	
前期繰越金	167,380	17,314	
収入合計(B)	1,146,383	2,812,319	
II 支出の部			
1 事業費		2,200,000	
1) 単位取得手帳販売経費	8,684	5,000	
本部還付金		75,000	
2) 段位認定地方審査員研修会			
主管者経費	263,937	300,000	
支部経費	178,216	25,000	交通費、通信費、
3) 支部会員そば打ち技術交流大会			主管に委託
主管者への助成金	23,279	100,000	
4) 支部会員交流会			
交流会経費	0	100,000	
支部役員の出張費	0	40,000	
5) そば打ち技術研修会			
大会経費	0	1,000,000	
6) そば大学			
助成金	100,000	100,000	
支部役員の出張費	126,790	150,000	
その他費用	2,145	5,000	
7) 地域活性化			
助成金	0	200,000	
支部役員の出張費	0	100,000	
2 管理費		532,000	
消耗品費	31,208	40,000	印刷インク・用紙代等
会議費	32,904	50,000	総会、役員会(2)、連絡会議
旅費	280,636	350,000	総会、役員会、連絡会議
段位認定大会・道具輸送費	20,300	0	貸出終了
振込手数料	1,728	2,000	
通信費	9,302	10,000	切手等
倉庫賃料	49,940		使用終了
雑費	0	80,000	
5 予備費		80,319	
次期繰越額	17314		
当期支出合計(C)	1,146,383	2,812,319	

一般社団法人全麺協 東日本支部会員名簿

2018.4.11

番号	区分	会員名	代表者氏名	県	市区町村
1	地方公共団体正会員	喜多方市	市長 山口 信也	福島県	喜多方市
2	正会員	うつくしま蕎麦王国協議会	会長 菅野 伸是	福島県	会津若松市
3	地方公共団体正会員	日光市	市長 斎藤 文夫	栃木県	日光市
4	正会員	NPO法人そばネット埼玉	代表理事 阿部 成男	埼玉県	さいたま市
5	正会員	会津そば塾	代表 唐橋 宏	福島県	会津若松市
6	正会員	会津磐梯そば道場	代表 長谷川 徹	福島県	耶麻郡磐梯町
7	正会員	桜流蕎麦打ち研究会	会長 高崎 満	東京都	千代田区
8	正会員	江戸流手打ち蕎麦 鶴の会	会長 齊藤 富士雄	東京都	千代田区
9	正会員	ふるさと寒河江そば工房	会長 鈴木 俊一郎	山形県	寒河江市
10	正会員	さいたま蕎麦打ち倶楽部	会長 田中 浩三	埼玉県	さいたま市
11	正会員	栃木のうまい蕎麦を食べる会	会長 芳田 時夫	栃木県	宇都宮市
12	正会員	いばらき蕎麦の会	会長 人見 實徳	茨城県	常陸太田市
13	正会員	会津山都そば協会	会長 鈴木 勝	福島県	喜多方市
14	正会員	江戸流手打ちそば青山学舎	主宰 石野 忠秋	千葉県	我孫子市
15	正会員	江戸流手打ちそば二・八の会	代表 安井 良博	東京都	板橋区
16	正会員	高林蕎麦研究会	会長 君島 照明	栃木県	那須塩原市
17	正会員	会津田島御蔵入そばの会	代長 紀 治男	福島県	南会津町
18	正会員	群馬奥利根連合そば会	代表 宮田 優一	群馬県	渋川市
19	正会員	分桜流・彩次郎蕎麦打ち会	会長 渡部 隆夫	埼玉県	加須市
20	正会員	千葉県そば推進協議会	理事長 石橋 ちず江	千葉県	千葉市
21	正会員	千葉手打ち蕎麦の会	代表 瀧上 睦明	千葉県	四街道市
22	正会員	二戸御法度の会	代表 佐藤 和夫	岩手県	二戸市
23	正会員	蕎麦打ち道場 一寿の会	代表 板垣 一寿	新潟県	新発田市
24	正会員	いわせ蕎麦の会	代表 若林 正美	茨城県	桜川市
25	正会員	新潟つながるそばの会	代表 市村 照男	新潟県	上越市
26	正会員	さくら蕎麦の会	会長 杉山 忠秋	千葉県	千葉市
27	正会員	TOKYO蕎麦塾	塾長 藤澤 剛	東京都	武蔵野市
28	正会員	那須手打ち蕎麦倶楽部	代表 中原 利敬	栃木県	那須塩原市
29	正会員	太田こだわり蕎麦の会	代表 加藤 志伸	群馬県	太田市
30	正会員	手打ちそば教室 蕎麦善	代表 鴨井 孝	埼玉県	新座市
31	正会員	蕎麦の会 藤	代表 横山 忠弘	埼玉県	杉戸町
32	正会員	青森県そば研究会	代表 佐藤 重一	青森県	上北郡東北町
33	正会員	江戸流手打ちそば 鶴蕎の会	会長 小泉 好江	東京都	江戸川区

34	正会員	いわきそば塾	塾長 根内 一彰	福島県	いわき市
35	正会員	杉戸麺打愛好会小川道場	会長 小川 伊七	埼玉県	杉戸町
36	正会員	青葉手打そば教室 青蕎会	会長 渡邊 義昭	宮城県	仙台市
37	正会員	蕎麦喰地蔵尊 蕎麦打ち会	代表 畑 貞則	東京都	世田谷区
38	正会員	大島そば同好会	会長 橋本 正希	福島県	郡山市
39	正会員	江戸流手打ち蕎麦 鶴合之衆	代表 小野 マサル	茨城県	土浦市
40	正会員	NPO法人手打ちそば道場新宿村	代表 佐藤 和雄	東京都	中野区
41	正会員	江戸流手打ち蕎麦 轟そばの会	会長 田仲 悦郎	千葉県	千葉市
42	正会員	東京そばの会	会長 小池 晃	東京都	葛飾区
43	正会員	伊勢崎蕎麦ゆうゆう会	会長 大久保 文司	群馬県	伊勢崎市
44	正会員	安積そば同好会	会長 高橋 久	福島県	郡山市
45	正会員	秩父そば打ち倶楽部 蕎楽館	代表 上石 良雄	埼玉県	秩父市
46	正会員	宮城手打ちそば研究会	代表 柏倉 寛充	宮城県	仙台市
47	正会員	彩蕎一門会	代表 樽見 二三男	埼玉県	久喜市
48	正会員	神奈川そばフォーラム	会長 廣武 照明	神奈川県	横浜市
49	正会員	NPO法人 熊谷そば打ち会	会長 高橋 侑一	埼玉県	熊谷市
50	正会員	石川そば同好会	代表 近藤 康	福島県	石川町
51	正会員	そば塾 彩蕎庵	会長 安田 武司	埼玉県	杉戸町
52	正会員	郡山西地区そば打ち団体連合会	代表 高橋 寛之	福島県	郡山市
53	正会員	とちぎ蕎和会	代表 小森 康弘	栃木県	宇都宮市
54	正会員	郡山そば同好会	会長 白石 清太郎	福島県	郡山市
55	正会員	日本橋そばの會	会長 兼城 健	東京都	中央区
56	正会員	常路麺打ち愛好会	会長 新寄 照幸	埼玉県	所沢市
57	正会員	そば始め会	会長 金子 啓介	新潟県	十日町市
58	正会員	せいち庵そば打ち倶楽部	会長 生沼 聖司	茨城県	古河市
59	正会員	恒持庵	会長 坂本 始喜	埼玉県	秩父市
60	正会員	久喜そば倶楽部	会長 田中 憲一	埼玉県	幸手市
61	正会員	手打ちそばサークル悠遊	会長 中井 吉弘	埼玉県	越谷市
62	正会員	小山手打ちそばの会	会長 武藤 光男	栃木県	小山市
63	正会員	手打ちそばときわ会	会長 吉田 忠	福島県	田村市
64	正会員	仙台北一番町そば塾	代表 日野 浩一	宮城県	仙台市
65	正会員	福島南向台そばクラブ	代表 佐藤 昭二	福島県	福島市
66	正会員	つくば蕎麦愛好会	会長 浅見 周司	茨城県	つくば市
67	正会員	結乃會	会長 斉藤 巖	福島県	西郷村
68	正会員	桃園そば打ち会	会長 田中 博文	東京都	中野区

69	正会員	越後ながおかそばの会	島田 浩二	新潟県	長岡市
70	正会員	山形県庁そば研究会	会長 高橋 耕太郎	山形県	米沢市
71	正会員	蓬田村そば打ち研究会	会長 桶田 武	青森県	蓬田村
72	正会員	瀬戸口麺打ち愛好会草加共生塾	館長 瀬戸口 公子	埼玉県	草加市
73	正会員	工房水神そば	代表 一ノ瀬 龍治郎	宮城県	岩沼市
74	正会員	けやき蕎麦打ち同好会	代表 中山 攻	埼玉県	春日部市
75	正会員	ふくしまマsters'11期生そば打ち愛好会	代長 五十嵐 幸也	福島県	福島市
76	正会員	うつのみや和楽の会	会長 堀内 信夫	栃木県	宇都宮市
77	正会員	伊勢原蕎麦打ち倶楽部	会長 鈴木 一夫	神奈川県	伊勢原市
78	正会員	福島手打ちそばの会	会長 富田 美都男	福島県	福島市
79	正会員	圏央手打ちそばクラブ	会長 樋口 正一	埼玉県	鴻巣市
80	正会員	常陸そばの会	会長 長嶋 光行	茨城県	常陸大宮市
81	正会員	こもれび蕎麦の会	会長 林 久晴	千葉県	我孫子市
82	正会員	しらこばと蕎麦打ち会	代表者 小早川 実	埼玉県	越谷市
83	正会員	洋子蕎麦打ち倶楽部	会長 常世田 洋子	埼玉県	春日部
84	正会員	匠磋そばの会	会長 富永 昭一	千葉県	匠磋市
85	正会員	北本蕎麦深会	会長 深井 昭芳	埼玉県	北本市
86	正会員	蕎麦道場 かたくり舎	代長 志小田 勝雄	宮城県	山元町
87	正会員	白石興産(株)手打ち工房		宮城県	白石市
88	正会員	つくば手打ち蕎麦研究会	代表 酒井 清貴	茨城県	つくば市
89	正会員	清原手打ちそばの会	会長 鈴木 孝行	栃木県	宇都宮市
90	正会員	一水蕎麦塾	代表 松沼 孝	栃木県	小山市
91	正会員	おぐにの郷	代表 齋藤 忠市	福島県	喜多方市

1	賛助	(有)中村豊蔵商店	代表取締役 中村要一	福島県	会津若松市
2	賛助	(株)セキカワ	代表取締役 関川昌徳	新潟県	燕市
3	賛助	アベ食粉(株)	代表取締役 阿部弘二	福島県	郡山市
4	賛助	(株)やまびこ	代表取締役 犬飼博	東京都	立川市